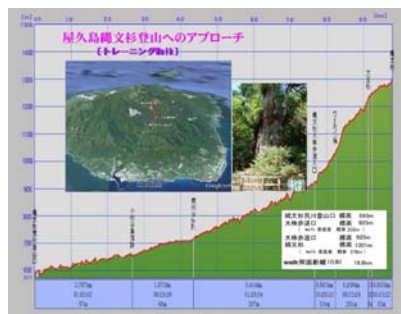


早春の比叡山きらら坂・六甲周辺を歩く 2014. 4. 5.



《屋久島 縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク》

1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ	2013. 2. 23.	2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ	2013. 3. 2.
3. 菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋	2013. 3. 5.	4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク	2013. 3. 16.
5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ	2013. 3. 17.	6. 武田尾/宝塚 武庫川渓谷廃線歩き	2013. 3. 23.



京都高野川から見る比叡山 2013.2.23. 雌岡山の梅林から眺める雄岡山 2013.3.16 神戸三宮から眺める布引谷と摩耶山 2013.3.2

大学時代の山仲間から、屋久島合宿をこの四月にやろうとの案内。一度は是非とも見たかった念願の屋久島縄文杉ツアーに是非参加したいと。夫婦で参加して屋久島を歩く仲間も数組あると聞いて、家内も「是非 縄文杉をみたい」と。

縄文杉ツアーの行程を調べると、朝 5 時ごろ出発して、渓谷沿いの長いトロッコ道を歩いて、

そこから縄文杉まで登る。高低差約 700m 往復 20km の長距離 Walk。

「今年は古希 70 にもなる」とも思うのですが、「やっぱり縄文杉まで行きたい」

「毎週六甲を歩いてトレーニング 縄文杉までの登りは根性 道は長いが行ける」と近くの知人に聞いてきた家内も俄然 張り切って、この 3 月 好日山荘に通いながら六甲周辺の山を歩きました。

トレーニングもさることながら、早春の山や山里の景色は心地よい。スタートに選んだ比叡きらら坂はまだ残雪が一杯の雪道 そして 梅の花が咲き、溪流のお供軽やかになって 桜の花もちらほら

もっとも、今年は霞が濃くて 稜線からの遠望がもうひとつ。

毎週のハイク しんどいかなあ・・・と思いましたが、気分爽快の早春ハイク。花粉症も山に入ると忘れてしまって思いもよらぬうれしい役得。やっと これだったら 縄文杉まで歩けるかなあ・・・と。

まあ 行き着けそうになかったら 途中でひきかえせば・・・と気楽に春の山歩きを続けています。

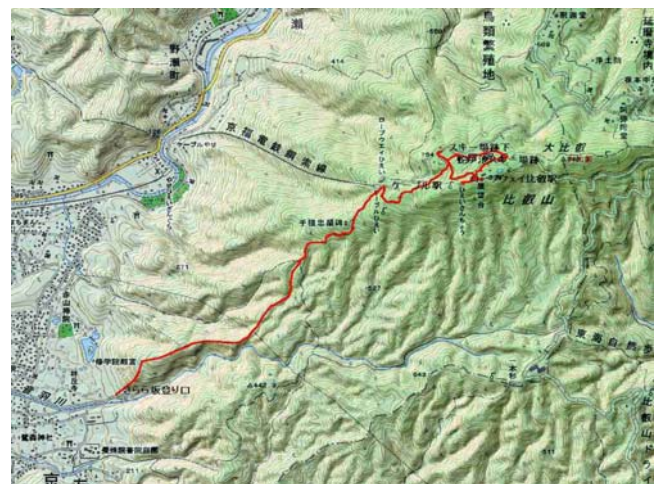
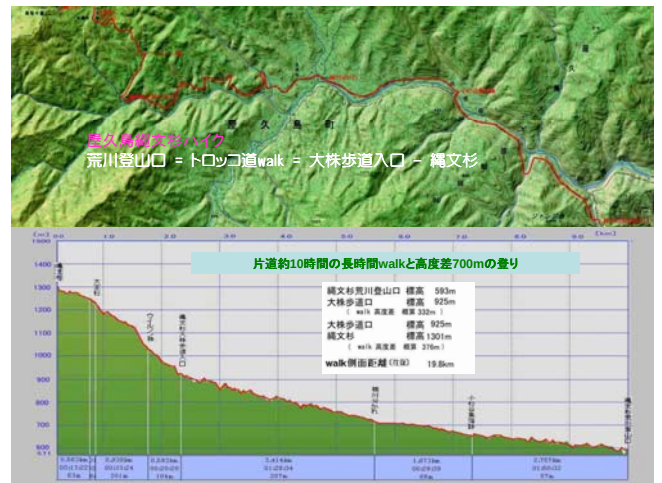
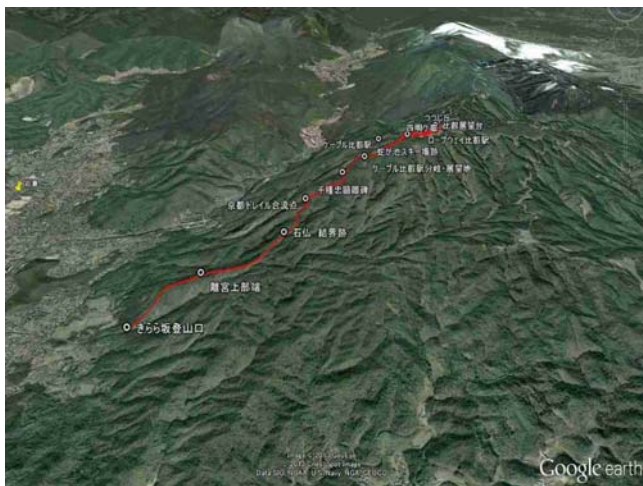
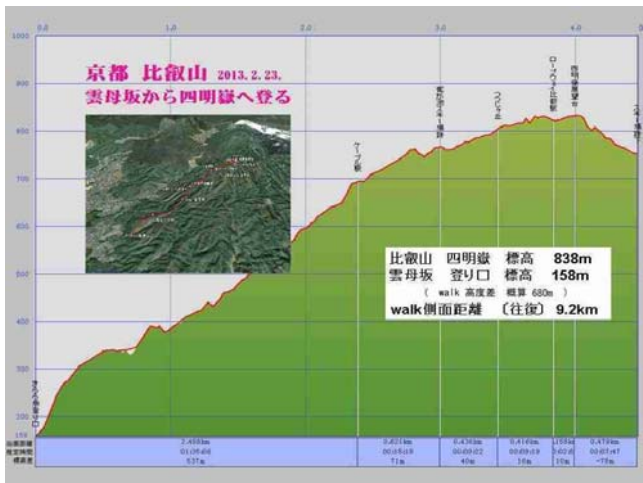
2 月末から 3 月まで 6 回のトレーニングハイクを PDF 写真アルバムにまとめました。



三宮から油こぶし道を六甲山へ

武田尾/宝塚 武庫川渓谷沿い廃線歩き

菊水山から鍋蓋山へ 天王谷吊橋を渡る





雲母坂 登り口 鷲森神社 京都市左京区修学院名ノ輪町15
 比叡山へ雲母坂の道筋 比叡山南西麓 栗山に源を發する音羽川、一条寺川に挟まれた地にある閑静な森と美しい参道がある神社。今から約1100年あまり前の貞觀年間に創建され、かつては修学院離宮の山林にあったという修学院離宮ゆかりの古社で、祭神は八坂神社と同じ素戔鳴尊素戔鳴尊。比叡山麓七里修学院、山麓一帯の氏神社のひとつで、牛頭天王、また饒閼天王(天皇)(しゅだてんのう)を祀り、(『拾遺郡名所図会』)修学院村天主社、修学寺の天王とも呼ばれた歴史ある神社。閑静な境内には、荘厳な本殿のはかに離宮にゆかりの石碑や幸橋があり、桜や楓、紅葉の美しい参道は散策に最適。



南側にある豊珠院の正面まで登り道 2013.2.23.



鷲森神社から 東へ豊珠院横への坂を登ると左 雲母坂 右豊珠院のT字路



豊珠院の横から北へ森に入ると雲母坂の解説案内板があり、この森を抜けると 比叡山南麓を西へ流れ下ってくる小さな溪流 音羽川の岸に出て、川に沿って遊歩道が整備されている、このすぐ東 上流側が雲母坂の登り口である

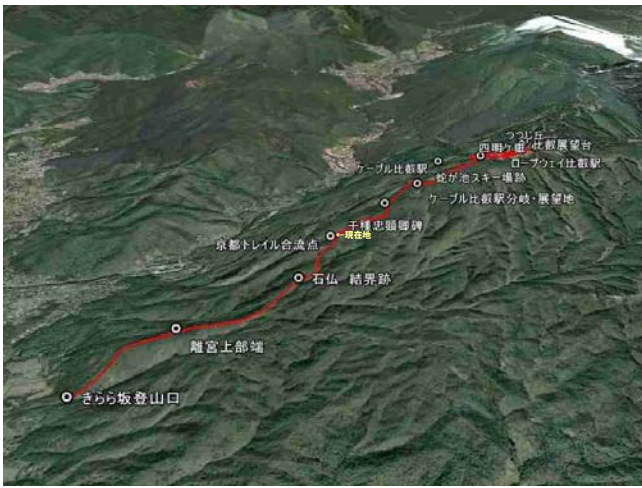


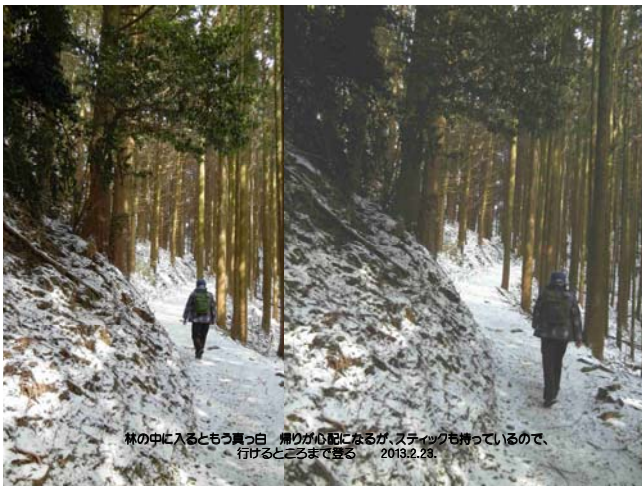
右 雲母坂 左 豊珠院のT字路 鷲森神社から登ってきた坂道角 2013.2.23.



雲母坂 登り口 2013.2.23.







林の中に入るともう真っ白 帰りが心配になるが、スティックも持っているので、行けるところまで登る 2013.2.23.



八潮ケーブル比叡駅への分岐・展望台周辺の林の中 2013.2.23.



更に雪が深くなった林の中 ロープウェイの索道をくぐるとまもなく蛇池のスキー場跡 2013.2.23.



東山連峰の右手に京都市街地 正面には松ヶ崎・宝ヶ池の集落

↓ 京都駅・タワー ↓ 修復中の東本願寺 ↓ 御所
↓ 岡崎界隈 ↓ 神楽が岡 ↓ 吉田山・京大



森を抜けると西に視界が開けた展望台 南西側に京都の市街地が一望 2013.2.23.

中央を左から右へ鴨川 京都駅界隈から御所南辺まで くっきりと通望できました





始が池スキー場から 四明山の頂上部の展望台 右側にロープウェイ駅 2013.2.23.
この山の向こうは琵琶湖側-延暦寺がある



リフトが伸びる四明山の頂上部の展望台が見える 2013.2.23.



スキー場からパースして 北西斜面 つつじが丘から頂上へ 2013.2.23.
広い車道がドライブインから延び、湯涌温泉の山手なみだり池、ケーブル・ロープウェイドライブ
ウェイ、すべて冬景色となり、山は白く雪の海、まるで雪の中、
ふの山と山内麓に控えてある。



つつじヶ丘から西側の展望 2012.2.23.



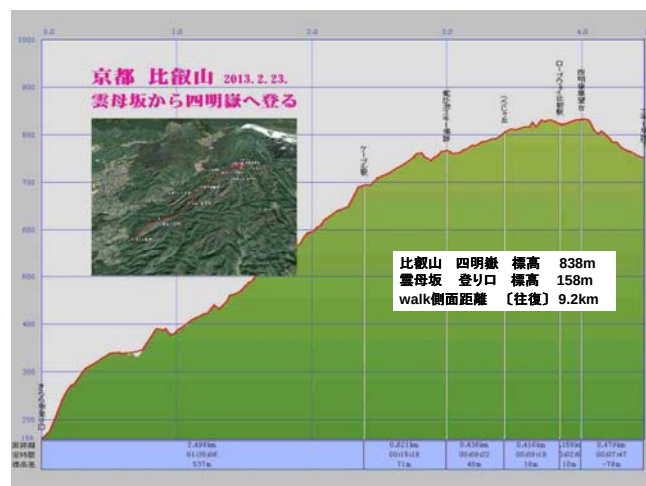
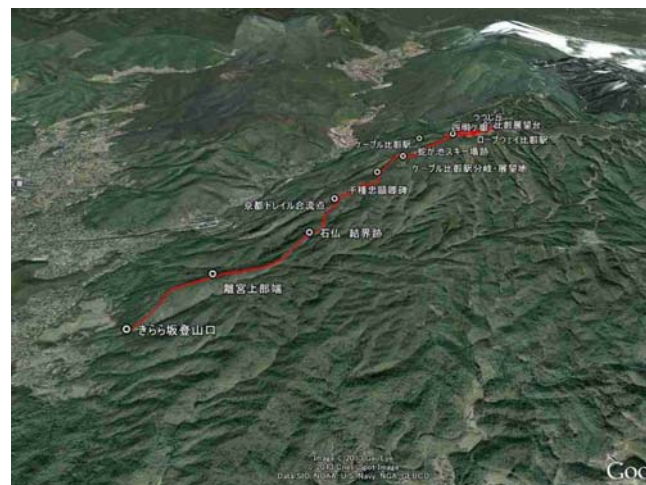
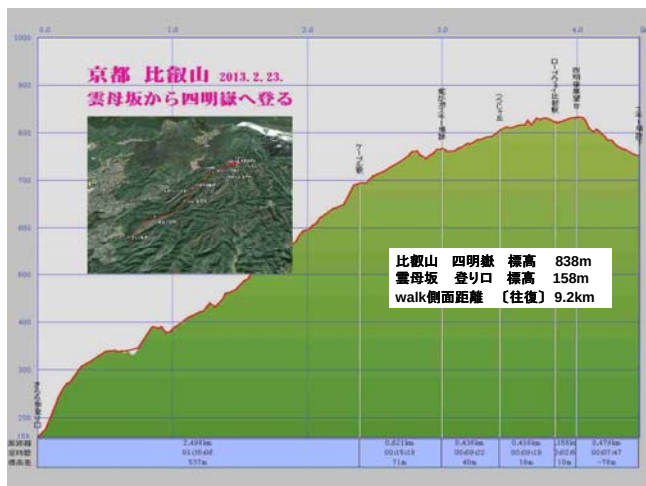
西側の展望 八瀬の里 山中に京都産業大? の建物が見える 2013.2.23.

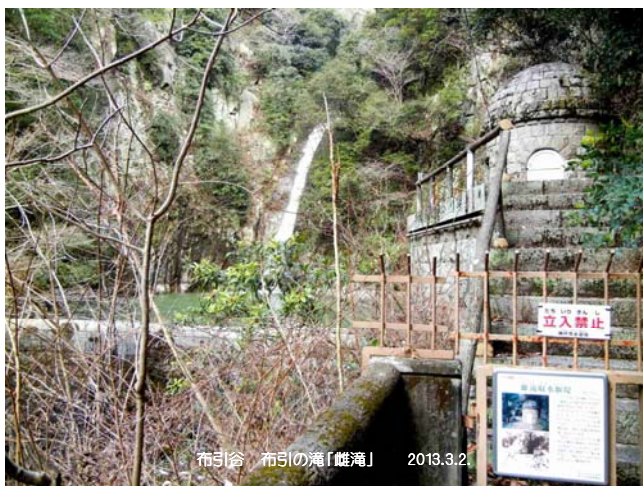
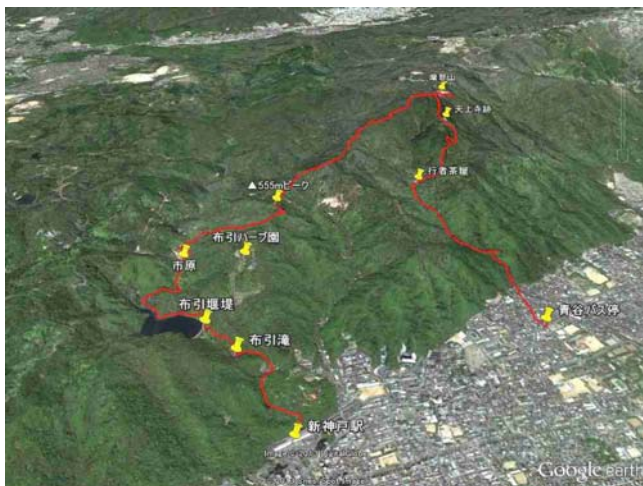
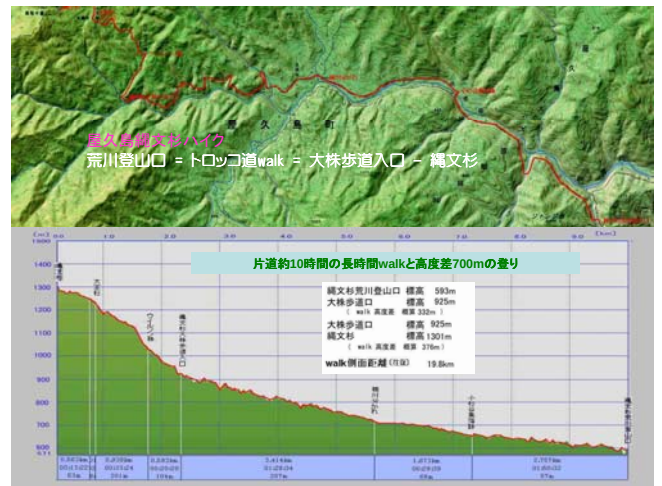


山上は雪に覆われ、公園の入り口は崩壊され、戻って
ないと向こう側へは行けなかった 2013.2.23.



行楽シーズンには賑わう場所であるが、雪の中、琵琶湖側の坂本ケーブルドライブ ウェイの
バスも休止とわかって、やっぱり、雪母坂を下りることにして、四明山頂上へ 2013.2.23.







布引谷 布引の滝「雄滝」 2013.3.2.



布引谷 布引の滝「雌滝」 2013.3.2.



布引谷 五本松堰堤 隠れ滝 2013.3.2.



夏には木陰になってよく見えぬこの角度の姿がよく見える 雌滝 2013.3.2.



布引谷
布引ダム 五本松堰堤
2013.3.2.



布引谷 五本松堰堤 隠れ滝 2013.3.2.



市原の崖にいた猪 2013.3.2.



布引ダム湖の奥 市原 2013.3.2.



市原 摩耶山天狗道入口 2013.3.2.

市原から摩耶山 天狗尾根を登る天狗道 幾つかのこぶと稲妻坂・ゴロゴロ坂の急坂が待っている



ハーブ園からの道と交流ししばらく行くと
ごつごつと岩が頭を出した稲妻坂 2013.3.2.

天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.



尾根筋道の谷の向こうにハーブ園が見え隠れる 2013.3.2.

天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.



稲妻坂を越え 平坦な尾根筋を行くと555ピーク 右から学校道が合流する 2013.3.2.



天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.



稲妻坂を越え 平坦な尾根筋を行くと555ピーク
右から学校道が合流する 2013.3.2.

天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.



天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.

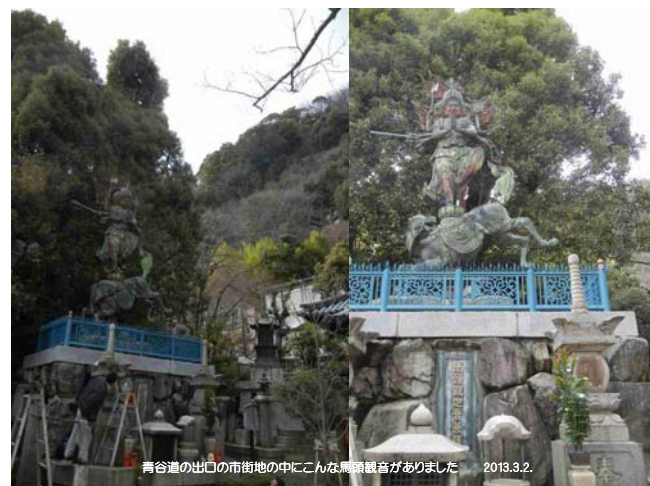


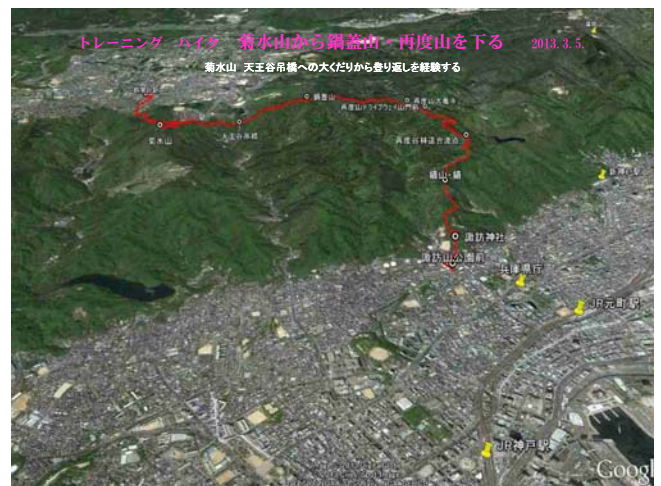
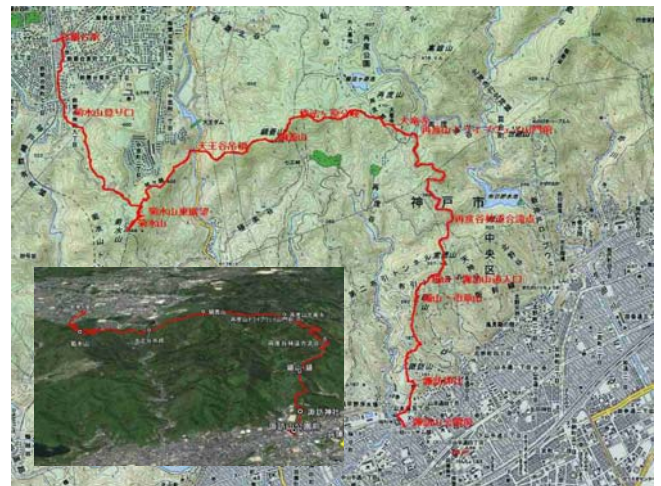
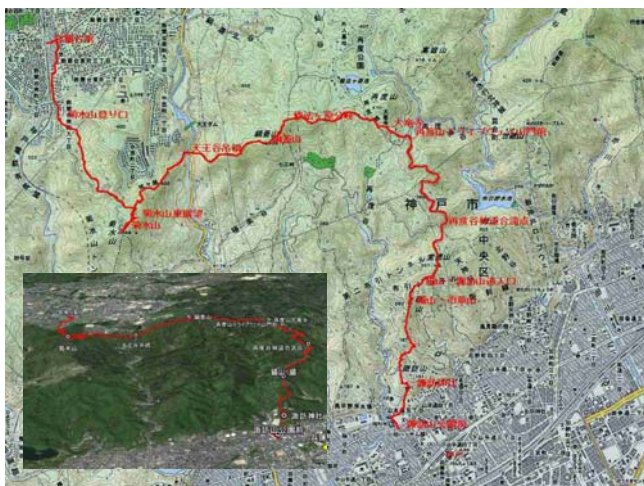
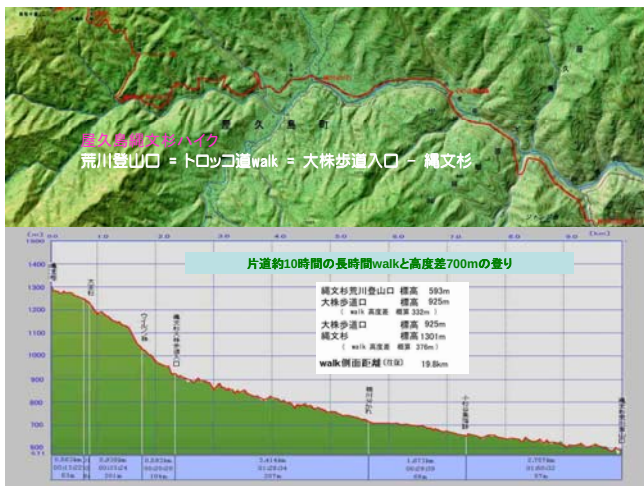
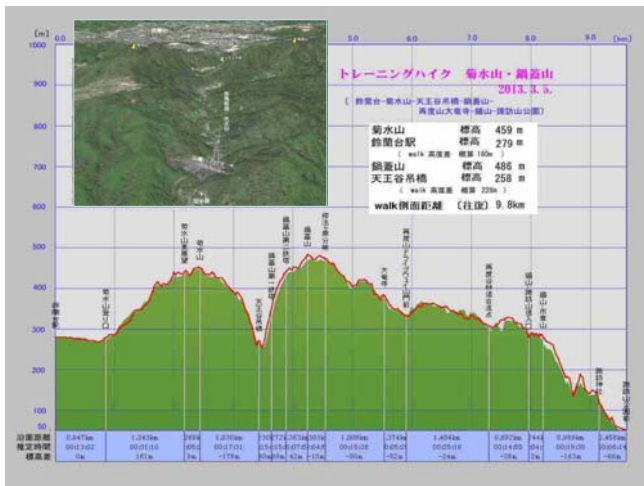
幾つかのこぶを越えてゆく尾根道 前方近くに摩耶山頂上が見え、
鞍部のゴロゴロ坂入口へ下ってゆく

天狗道での白狐写真を撮る時と海狗山のため、
インターネットよりお借りしました。
Copyright © 2013 Tenryu Mountain Trail. All rights reserved.



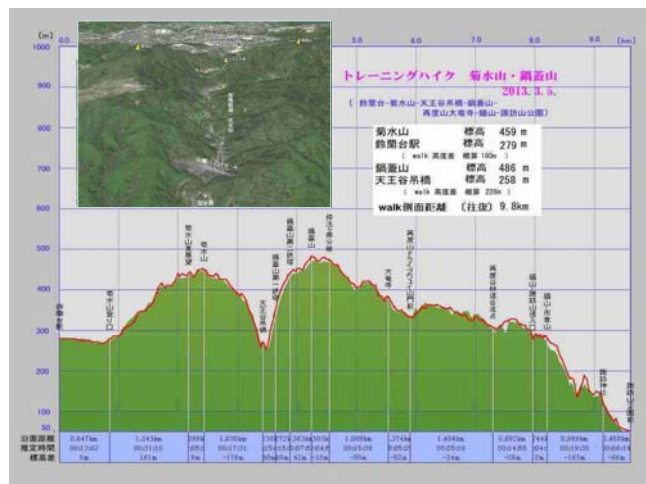




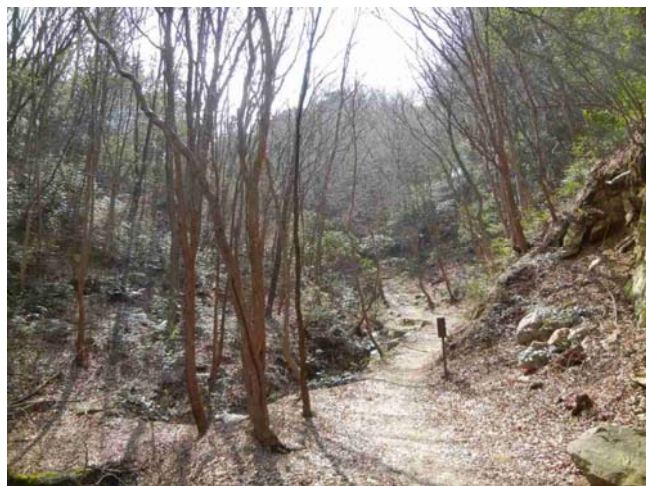




NTTの敷地の中を行く鈴蘭台登り口 2013.3.5



NTTの敷地の中を行く鈴蘭台登り口 2013.3.5.





菊水山 山頂 2013.3.5.



菊水山頂上部 北の丘展望台から東側の展望 2013.3.5.



霧霞の中に浮かび上がる神戸の町並み遠望 2013.3.5.



空気の澄んだ青空の夏には こんな風に神戸の市街地がみえるのですが・・・



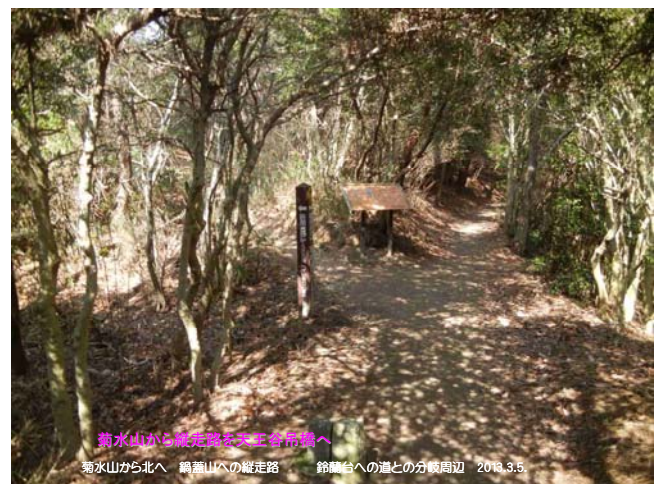
菊水山からの眺望 北西側の鈴蘭台の街遠望 2013.3.5.



南西側 丸山・高取山・横尾山・旗振山から明石海峡へと通なる六甲の西部連山 2013.3.5.



北へ向かう縦走路の右手 樹木の切れ目からはこれから向かう鍋蓋山の大きな山体が見える 2013.3.5.



菊水山から縦走路をたどる途中

菊水山から北へ 鍋蓋山への縦走路 鈴蘭台への道との分岐周辺 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鍋蓋山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.



北へ 天王谷へと続く脱走路 この先から菊水山のくだりが待っている 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鍋蓋山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鍋蓋山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.
天王谷の谷底にある北麓蒲台の街並みが見えている



天王谷吊橋への菊水山大くだり 谷の中を北へまっすぐ走る青鳥街道が見え隠れ 2013.3.5.



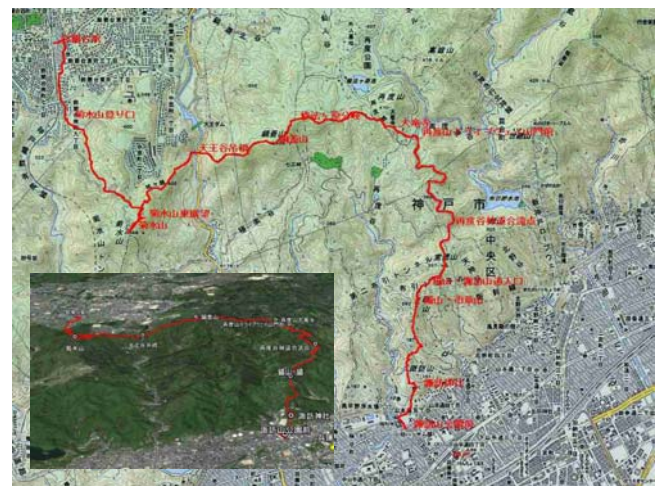
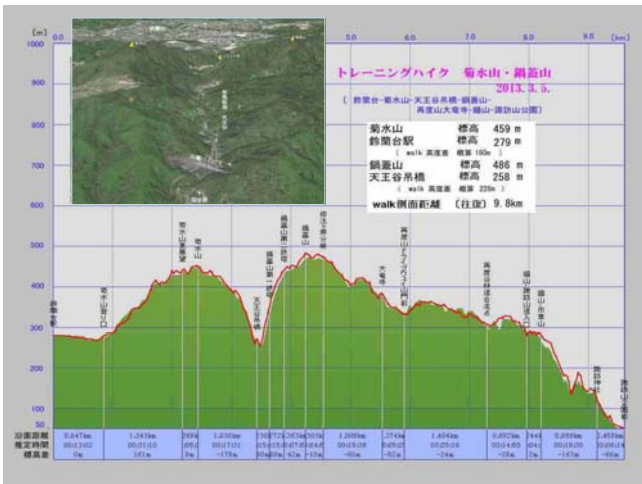
吊橋から直登する登山道が通る上下の送電塔が見える堂々とした鍋蓋山 2013.3.5.



谷底がどんどん近づき、池の横を通過するとその先が吊橋 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鍋蓋山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.

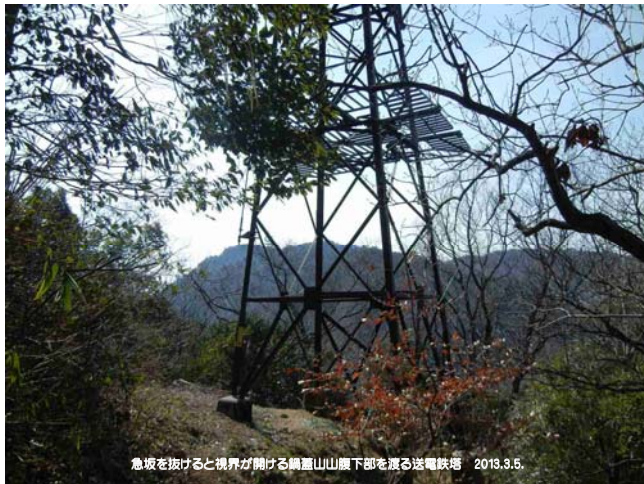




鍋蓋山への縦走路 直登の急坂 2013.3.5.



鍋蓋山への縦走路 直登の急坂が始まる 2013.3.5.



急坂を抜けると視界が開ける鍋蓋山山腹下部を渡る送電鉄塔 2013.3.5.



鍋蓋山への縦走路 直登の急坂 2013.3.5.



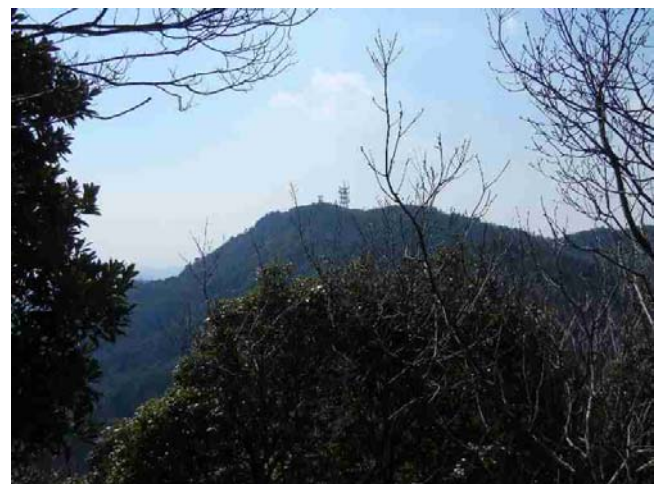
下部の鉄塔からは、また 樹林帯の中の登りが続く 2013.3.5.



山腹下部の送電鉄塔からは西に菊水山がよく見える 2013.3.5.



樹間から天王谷ダムと北鈴蘭台の街並みがちらっと見える 2013.3.5.





岩の間の中も明るくなり、頂上が近い 2013.3.5.



側面を抜けると松林の美しい鍋蓋山の頂上広場 2013.3.5.



山腹上部の送電鉄塔の横をくぐり抜けると 頂上は近い 2013.3.5.



鍋蓋山頂上 2013.3.5.



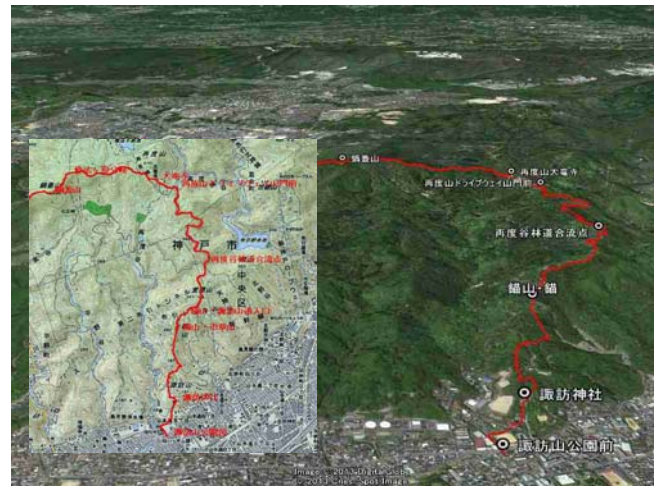
登山道を再渡山大蔵寺に出て、鍋蓋山へ下る 2013.3.5.



鍋蓋山頂上広場から眺める神戸市街地 2013.3.5.



林の中の縦走路を大竜寺へ 2013.3.5.



縦走路 再度公園・修法ヶ原への分岐周辺 2013.3.5.



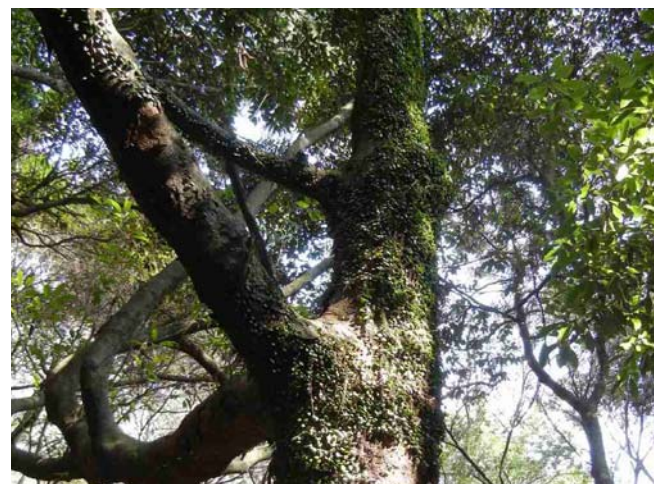
縦走路 再度越・修法ヶ原への分岐 2013.3.5.



縦走路 再度越・修法ヶ原への分岐周辺 2013.3.5.



再度山 大竜寺 2013.3.5.





再度林道合流点周辺から眺める常水山・鰯蓋山 2013.3.5.



再度林道合流点周辺から ドライブウェイ沿いの山道を歩く 2013.3.5.



大電寺山門前から再度山ドライブウェイを鰯山へ下る 2013.3.5.



鰯山からの展望 2013.3.5.



神戸のシンボルマーク「鰯」



神戸 鰯山・市軍山
インターネットより



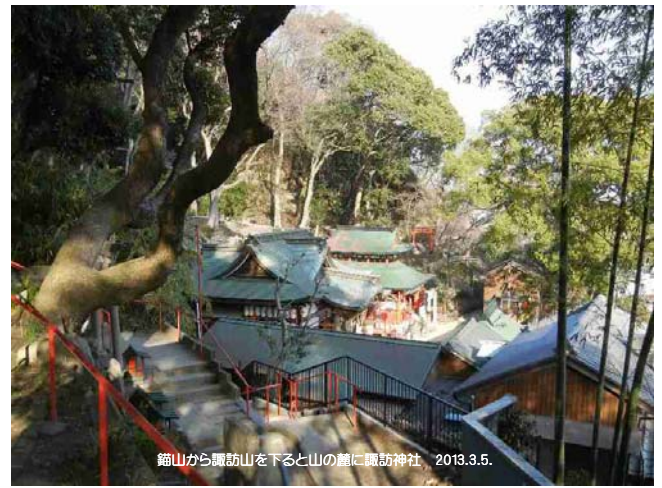
鰯山から眺める神戸中心市街地 2013.3.5.



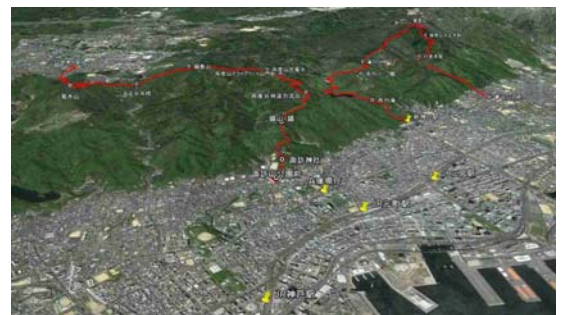
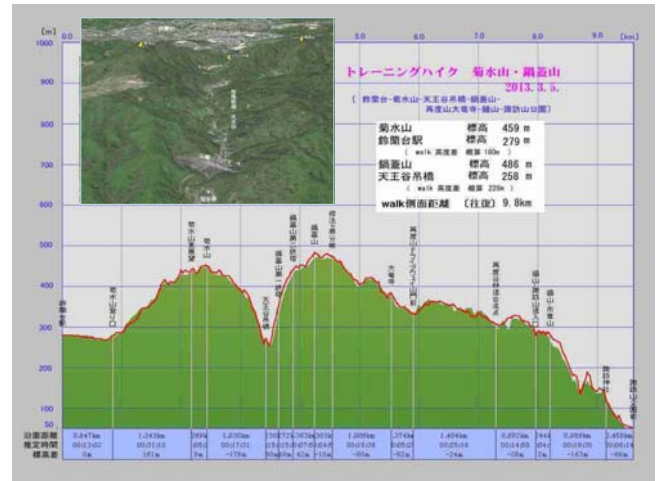
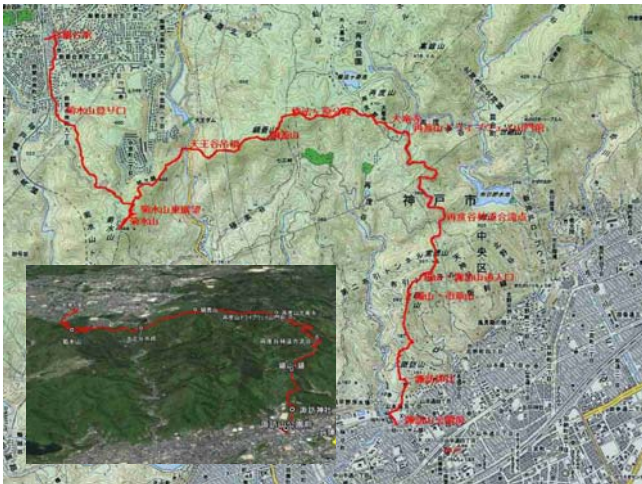
神戸のシンボルマーク「鰯」

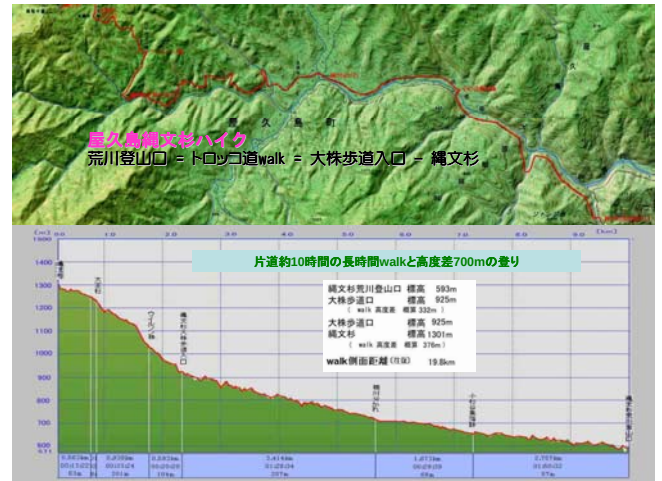


観訪山公園前 2013.3.5.

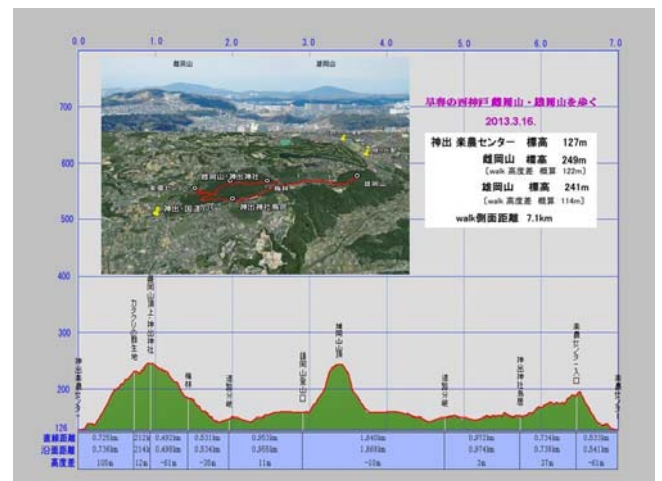


鉤山から観訪山を下ると山の麓に観訪神社 2013.3.5.





雄岡山 北西山麓にある楽農センター「かんでかんで」 2013.3.15.





「かんでかんで」の梅林の横を鯉岡山へ登るハイキング路 2013.3.16.



鯉岡山北西山館 「かんでかんで」 2013.3.16.



鯉岡山北西山館 楽農センター「かんでかんで」の梅林 2013.3.16.



「かんでかんで」の梅林の横を鯉岡山へ登るハイキング路 2013.3.16.



すぐ横の神出学園 鯉岡山への散策路で 2013.3.16.



足元の草地には春の草花 2013.3.16.



梅林を抜けると鯉岡山への散策路 2013.3.16.





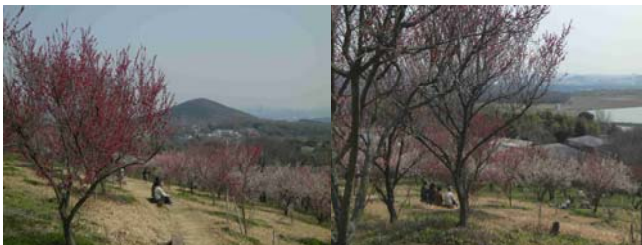
雄岡山頂上から通望する雄岡山 2013.3.16.



頂上から東へ下って行くと斜面には今満開の梅林 2013.3.16.



春霞の明石海峡 通望 正面奥 ラッパとと波路島がみえる 2013.3.16.



雄岡山梅林で 2013.3.16.



雄岡山梅林で 正面に雄岡山が見える 2013.3.16.



金澤池横 雄岡山東側からの登り口 2013.3.16.



雄岡山梅林で 2013.3.16.



雄岡山に登る

雄岡山登山り入口 2013.3.15.



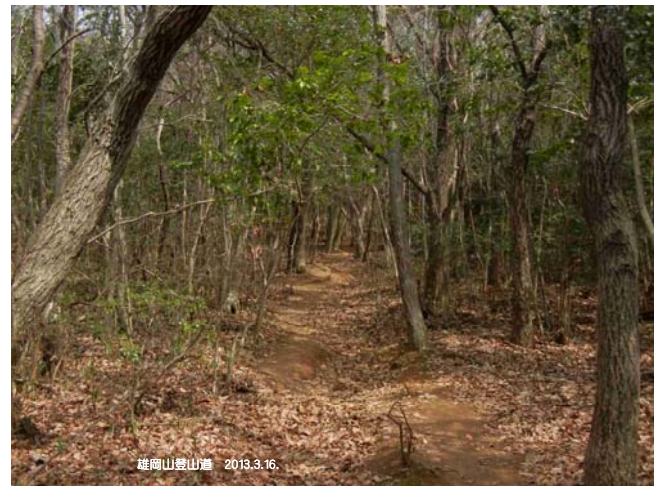
金棒池の向こうに雄岡山 2013.3.16.



雄岡山登山道入口 2013.3.16.



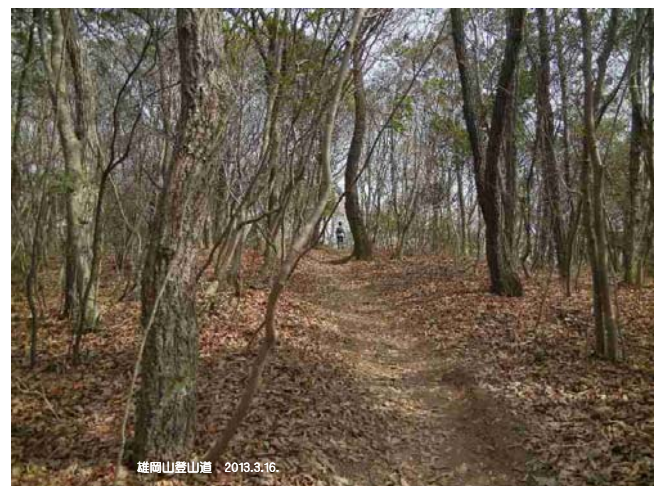
雄岡山登山道 2013.3.16.



雄岡山登山道 2013.3.16.



雄岡山頂上 東側 明石海峡方面の景観がぱっと開ける 2013.3.16.



雄岡山登山道 2013.3.16.



雄岡山頂上 南から登ってきた道 2013.3.16.



雄岡山頂上 東側 明石海峡方面の展望がぱっと開ける 2013.3.16.



雄岡山頂上 北の三木市線ヶ丘へ下る道 2013.3.16.



雄岡山頂上の祠 2013.3.16.



雄岡山の南東側には頂上から切れ落ちた水晶谷
この水晶谷では、かつて、水晶がいたる所で採取できたという
雄岡山では、この水晶谷にも数々の風物見物が採取されたとい
この地が現在にまで残ったのは、この水晶谷にちなんで、
この水晶谷が作りだしたのは、寛政の民、奈良忍海族の展開地であることもうなづける



雄岡山頂上 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 ロープのあるくだり道 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 ロープのあるくだり道 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 2013.3.16.



雄岡山・雌岡山の山裾を楽農センターへ戻る

雄岡山頂上からも来た道を引き返し、山裾を雌岡山 神出神社鳥居前へ 2013.3.16.



雄岡山山中で こんな赤い土もみつけました 2013.3.16.



雌岡山山頂 神出神社参道 鳥居前 2013.3.16.



雄岡山 神出神社鳥居前へ 山裾を巡る道で 2013.3.16.



楽農センター「かんでかんで」入口から見る雌岡山 2013.3.16.

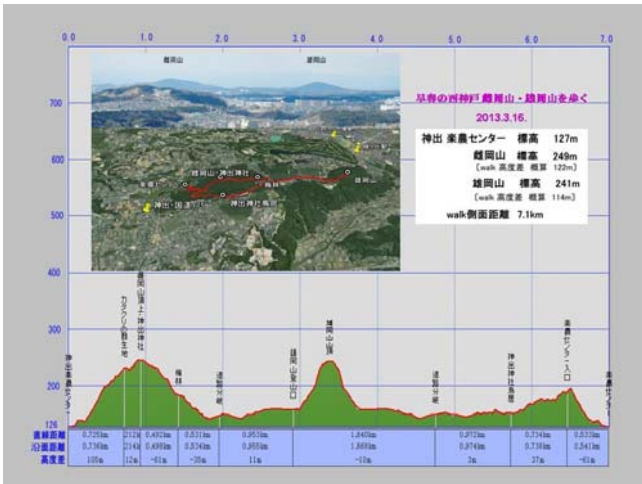


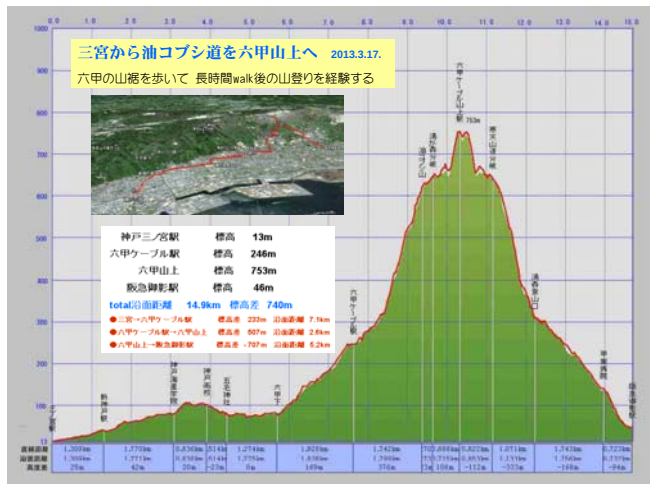
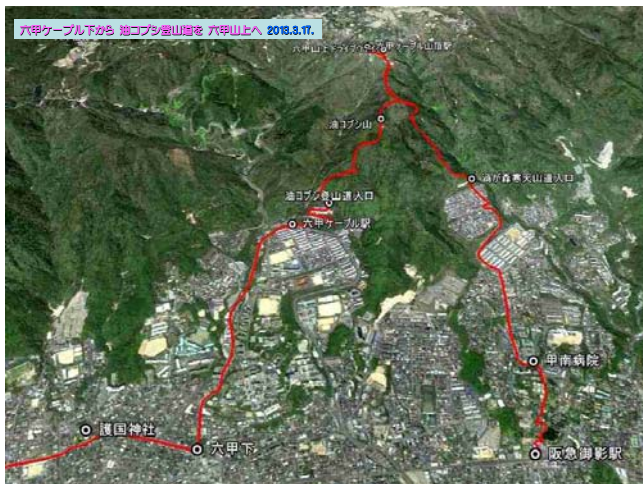
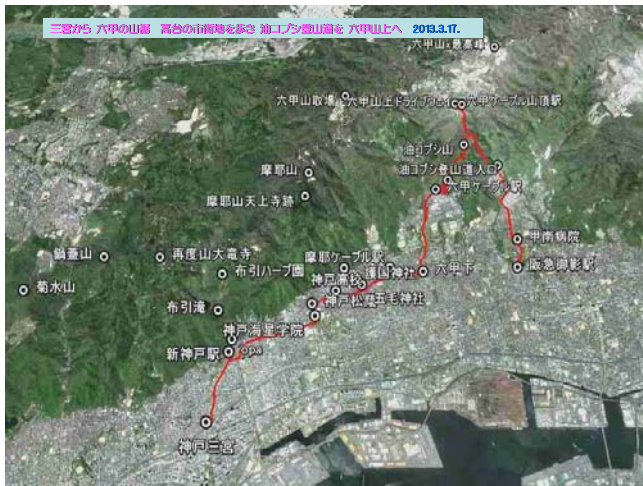
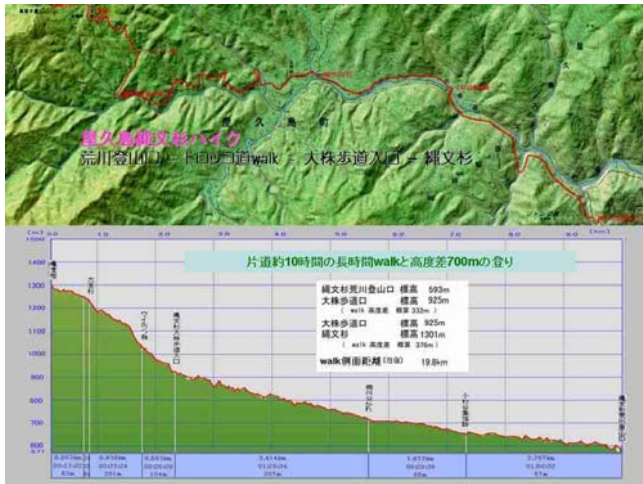


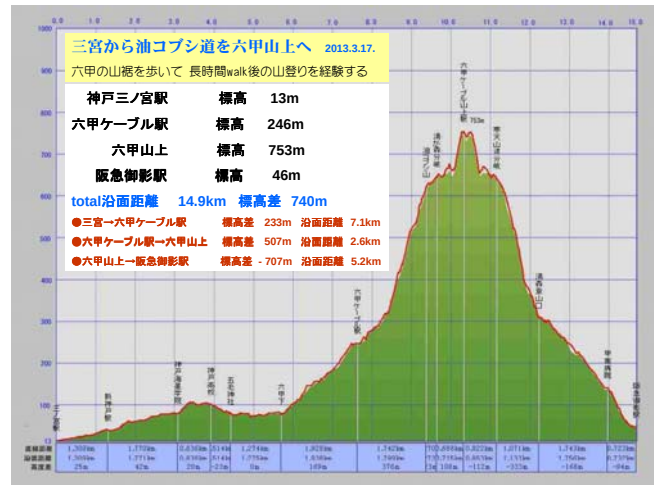
楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.



楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.







三宮から六甲ケーブル駅まで 六甲の山麓 高台の街を東へ

三宮→新神戸→《阪急六甲行のバス道(熊内・青谷・篠原・六甲下(六甲登山口))→ 鶴甲・六甲ケーブル駅へ

三宮から六甲ケーブル駅のすぐ横から始まる「油コブシ六甲登山道」へ約7km 六甲の山麓に広がる高台の市街地を東へ走る「阪急六甲行」のバス道を歩く。この道筋は山麓の高台に広がる市街地を幾つも谷筋を渡って東へ延びる道で、クロスして一気に海岸部へ延びる坂道や谷川が幾つもつながっている「坂の町神戸」を象徴する道のひとつでもある。

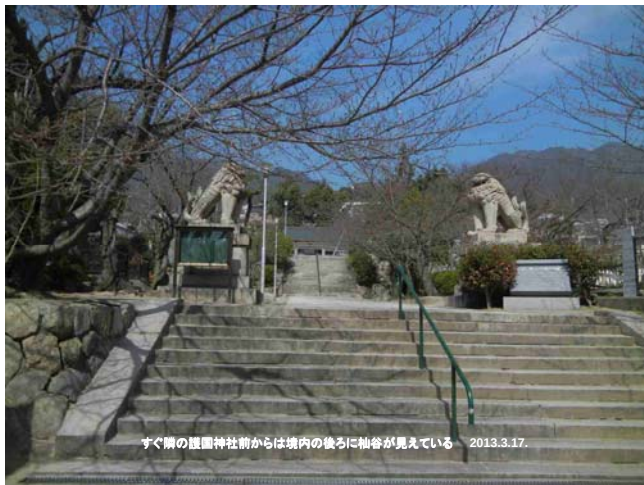
また、この道筋には 数多くの高校や大学が建ち並ぶ神戸山手の「学園ロード」でもある。

三宮・新神戸から六甲連山の山麓 高台に広がる町並みの中を 左に摩耶山など連なる山々を眺め、右手に海を遠望しながら、なだらかな坂をつないで東へ延びる大通り。そして、六甲下(六甲登山口)の十字路から、北へ神大キャンパスから鶴甲団地への急坂を登って六甲ケーブル駅横の油コブシ登山道に至る。

神戸の住民は誰しも良く知っている道なのですが、考えてみると一気に三宮から六甲ケーブル駅まで歩いたことは一度もない。

また、この高台は、縄文・弥生時代から数多くの人が住みつづいた地で、谷筋を渡り、六甲の山を越えてゆく数多くの道があり、青山道・仙谷道・徳川道・寒天山道などの名前が残り、今もハイキング道として整備されている





すぐ隣の豊園神社前からは境内の後ろに仙谷が見えている 2013.3.17.



仙谷川のすぐ横には「徳川道」の案内板 2013.3.17.



六甲川を渡ると もうすぐに六甲下(六甲登山口)の十字路 2013.3.17.

この六甲川の奥に六甲ケーブル駅 これから登ってゆく油コブシ山が見え、山の肩のところに話をのぞかせているのが、六甲山上 六甲ケーブル頂上駅か??



境内に入ると社殿の西奥に摩耶山が見えている 2013.3.17.



六甲登山口から麓甲・六甲ケーブル駅へと北へ延びる坂道 2013.3.17.

市街地が広がっているが、(六甲登山口)の名前が示すとおり、ここはもう山の中腹 麓甲・六甲ケーブル駅へは山へなる急な坂道がつづく。もう山歩きの一部である



六甲下(六甲登山口)交差点 2013.3.17.

この交差点を左へ曲がって 急坂を登って行けば登山口である



炭山橋 奥に谷筋を登ってゆく麓六甲ドライブウェイの橋がみえ、右の山は油コブシ山が見えている 登り口はもうすぐそこ 2013.3.17.



神大キャンパス前から眺める麓甲・六甲ケーブル駅への坂道 2013.3.17.

六甲川にがかる橋を左に渡ると松蔭大仏母野山 2013.3.17.



ふりかえると坂道の遠く向こうに海がありました 炭山橋周辺より 2013.3.17



こんな急斜面の谷筋に建ち並ぶマンション 中央にエスカレーターが延びている 2013.3.17



六甲ケーブル駅 2013.3.17



六甲ケーブル駅 2013.3.17



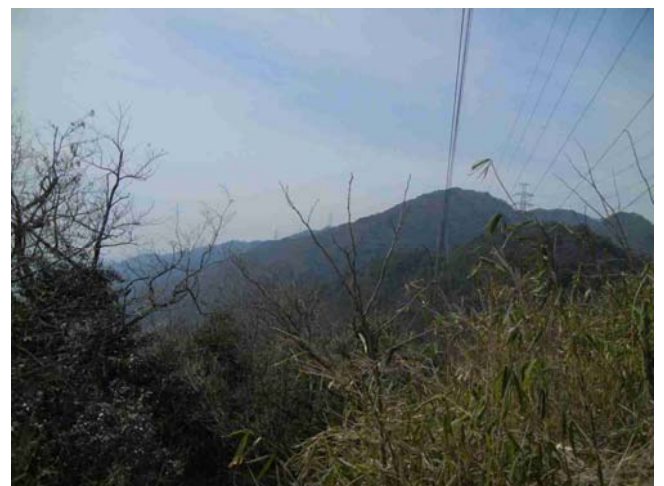
坂道を登り、建ち並ぶ老人ホームの横を抜けたところに油コブシ登山道の入口がある



ケーブル駅前の六甲有料道路の横をすり抜け、右へ坂道を登ると油コブシの登山道に登る 2013.3.17



油コブシ登山道を六甲山上へ





油こぶし山の南側テラス状広場から南側の眺め 2013.3.17.



油こぶし山の南側テラス状広場



油こぶし山の南側テラス状広場の北側 頂上への道



鉄塔を二つぐり、雑木林の中を更に登ると視界が開け、油こぶし山の下の広場に出る
登り続けてきたので、ほっと一息である 2013.3.17.



油こぶし山頂から北へ下ったところで、湯が森からの孝天山道と合流 2013.3.17.



油こぶし山頂上は林の中 視界が開けない 2013.3.17.
ここまで来るともうキツイ登りはなく 六甲山上はもうすぐである



樹間からは 六甲山上の峻峰が見え隠れ 頂上は近い 2013.3.17.



六甲山上のドライブウェイへ ぱっと視界が開ける 2013.3.17.





六甲山上からの展望《2》 六甲アイランド 2013.3.17.



六甲山上からの展望《1》 ポートアイランド 2013.3.17.



寒天山道から眺める油こぶしの鉄塔 2013.3.17.



油こぶし登山道と寒天山道の分岐 2013.3.17.



寒天山道 湯が森登山口周辺 2013.3.17.



湯が森へ下る寒天山道で 2013.3.17.



寒天山道 渦が森登山口・住吉神社奥宮
2013.3.17.



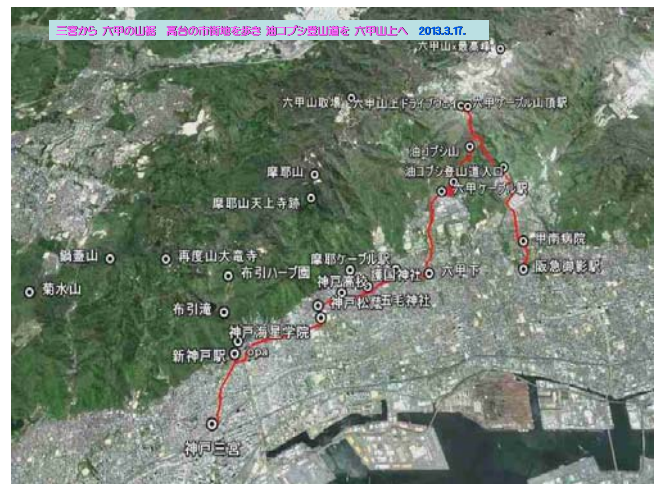
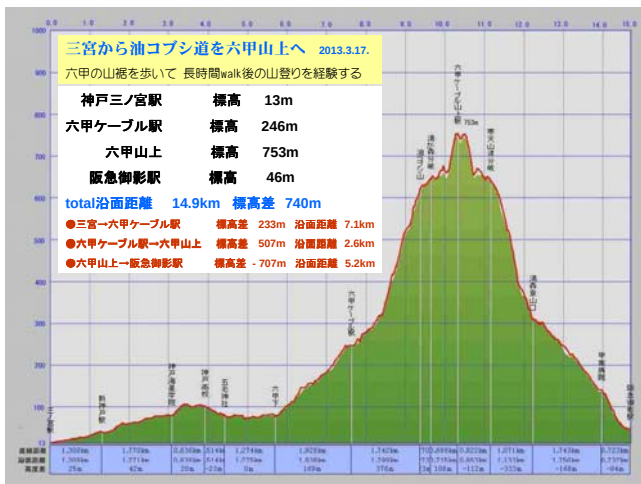
谷を挟んで東側 住吉台 そして住吉谷の奥に住吉霊園が見えている 2013.3.17.

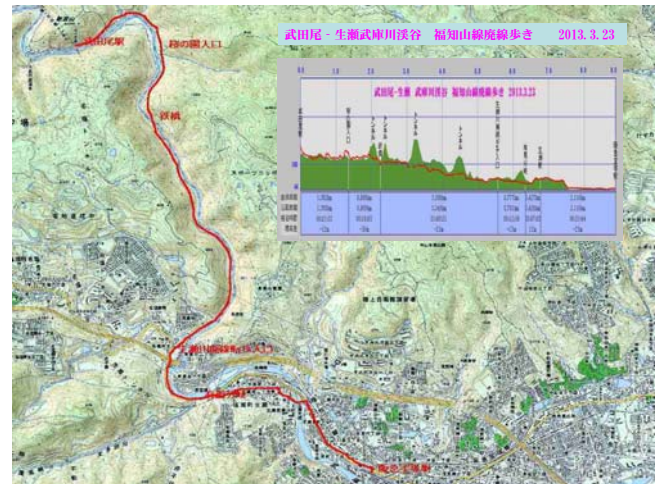
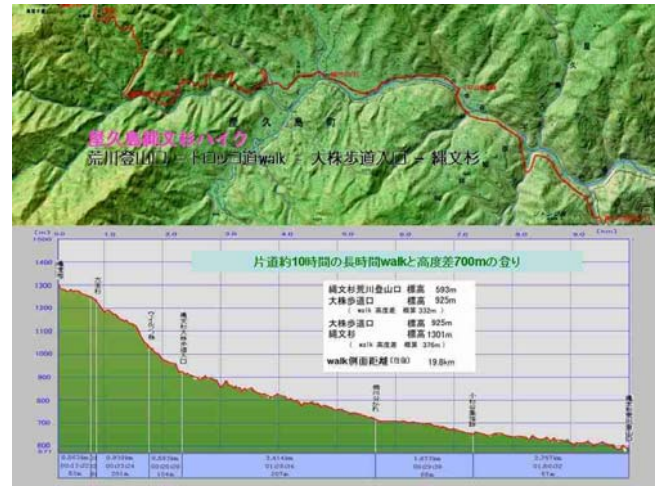
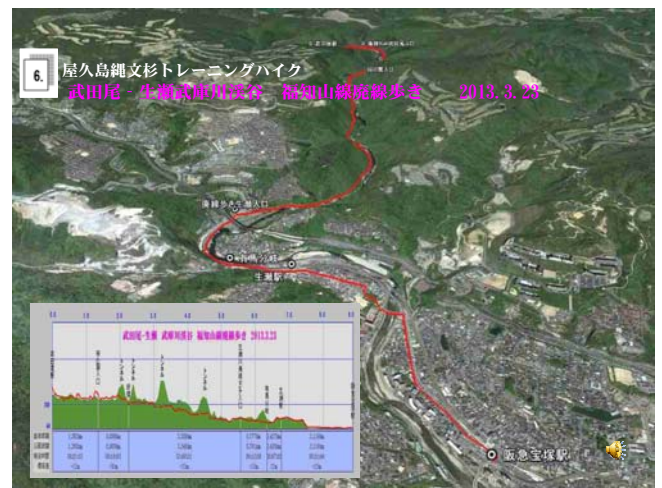


阪急御影駅 2013.3.17.
● 六甲山上一阪急御影駅
標高差 - 707m 沿面距離 5.2km
神戸三ノ宮駅 標高 13m
六甲ケーブル駅 標高 246m
六甲山上 標高 753m
阪急御影駅 標高 46m
total沿面距離 14.9km 標高差 740m



渦が森の登山口に降りましたが、まだ山の中腹 市街地のきつい急坂を阪急御影駅へ 2013.3.17.







福知山線 武庫川溪谷 廃線歩き武田尾入口 2013.3.23.



振り向いた上流 武田尾駅側の眺め 2013.3.23.



真鍮谷 スロー1 桜はまだですが、武庫川溪谷の景色と流の音が心地と良い 2013.3.23.



武田尾側 一番目のトンネル 2013.3.23.

溪谷沿いに数ヶ所トンネルと鉄橋歩きがあり、ヘッドランプか懐中電灯が必要。
小さな子供たちとも数多く行き違いましたが、みんな手馴れたもので、懐中電灯を首からぶら下げていました







